

「会話」と「対話」

校長 高橋 秀吉

「会話」と「対話」の違いはなんでしょう。辞書には「会話」は「二人または数人が、互いに話したり聞いたりして、共通の話を進めること。また、その話。」とあり、「対話」は「双方向かい合って話をする。また、その話。」とあります。

私たちはふだん「会話」と「対話」を区別したり、意識したりはあまりしていませんが、劇作家で演出家の平田オリザさんの考え方は興味深いので紹介します。

平田さんは「会話」を「価値観や生活習慣なども近い親しい者同士のおしゃべり。」「対話」を「あまり親しくない人同士の価値観や情報の交換。あるいは親しい人同士でも、価値観が異なるときに起こるその摺りあわせなど。」と定義しています。そして、演劇、とりわけ近代演劇は、この「対話」の言葉をもっとも重要視する、と言っています。

日本社会には、この「対話」という概念が希薄であると彼は言っています。なぜなら一般的に日本社会は、ほぼ等質の価値観や生活習慣を持った者同士の集合体ニムラ社会を基本として構成され、その中で独自の文化を培ってきたと言われてきたからです。平田さんはこのような日本社会独特のコミュニケーション文化を、「わかりあう文化」「察しあう文化」と呼んでいます。

一方、ヨーロッパは、異なる宗教や価値観が、陸続きに隣りあわせているために、自分が何を愛し、何を憎み、どんな能力を持って社会に貢献できるかを、きちんと他者に言葉で説明できなければ無能の烙印を押されるような社会を形成してきた、として、その文化を「説明しあう文化」と呼んでいます。

平田さんも言っていますが、両者はそれぞれ異なった文化体系であり、どちらが正しいとか、どちらが優れているということはありません。

しかしながら、多様性が高まってきている現在の日本では「察しあう文化」だけでは難しいかもしれません。「対話」はお互いの考え方や感じ方を摺合せ新たな考え方や感じ方を生み出すものです。創造性の高いコミュニケーションの方法と言えます。私たちは、ともすると同調や同情を求めネガティブに言えば排他的になってしまう傾向があるかもしれません。

多様性と柔軟性を大切にしていくカギは「対話」にあるように思います。

※参考文献「わかりあえないことから」平田オリザ（講談社現代新書）



現代はストレス社会とされています。大人も子どもたちも皆ストレスを抱えているといってもよいでしょう。この時期の学校だよりに毎回載せていますが、以前教職員向けに発行した「あすなる通信」(校長通信)でストレスについて触れた号がありますので、そこからの引用を再掲いたします。少しでも参考になれば幸いです。

■ストレスとレジリエンス(回復力)

学校で働くということは、常にストレスにさらされるということです。なぜなら、多種多様な業務を抱え、他の教職員、子どもたちや保護者との人間関係にも心を配り、常に変化に応じなければならぬからです。職員として経験を重ねてくると、業務内容や立場も変化し、これまでの経験値だけではうまく乗り切れない場合もあります。経験の浅い職員もそれなりのストレスを抱え、経験を重ねていってもそれなりのストレスを抱えています。つまり、恒常的にストレスにさらされているのが私たちの日常であると思います。(もちろん、私たちの仕事に限りませんが。)

そこで、ストレスにどう対応するか、ということを考えてみます。ストレスそのものは悪いわけではありません。むしろ適度なストレスは、脳を活性化したり、充実感を得たり、自分自身の可能性を引き出したりすることもあるのでプラスに働きます。しかし、ストレスが長期間にわたり、回復が難しくなってくるとさまざまに不具合が生じます。

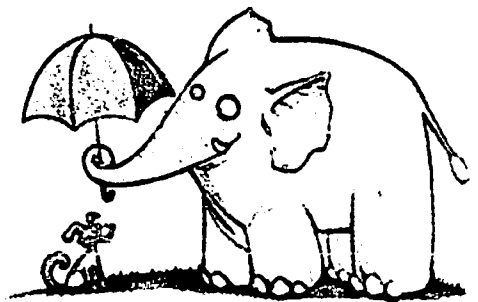
例えるならば、ゴムボールを指で押した時に少しボールがへこみますが、そのへこんでいる状況がストレスにさらされている状態です。でも、指を離すと、ゴムボールですから、また元に戻ります。このもとに戻る力をレジリエンスと言います。アメリカ心理学協会は、レジリエンスを「逆境やトラブル、強いストレスに直面したときに適応する精神力と心理的プロセス」と定義しています。

学者や本では「より良い人生のためには、逆境にあってもくじけず回復する力、折れない竹のようにしなやかな心を持つことが必要です。」などと言いますが、そう簡単ではありません。なぜなら、人は「弱いもの」だからです。「弱いもの」だから、

様々な問題を抱えたり、起こしたりします。

一方で、ですから人は愛おしく、哀しく、切なかったりします。また、文学や芸術が必要だったり、人は人とともにしか生きられなかったりする

(狼に育てられた子どもの例にもあります)のも、関係があるかもしれません。そんな、弱い私たちだからこそ、ストレスとどう付き合うかは現代において重要なテーマであると思います。



留守番電話での対応を試行いたします

教職員のワークライフバランスを整え、活力ある状態で子どもたちと向き合える環境を創造するために、3月1日から次の時間帯にて留守番電話対応を試行いたします。

ご理解とご協力に感謝いたします。

■夜間20時00分以降～明朝7時00分まで

※場合によっては時間帯が変更となります。

3月行事予定表

日	曜	0	1	2	3	4	5	6	7	生徒関係	備考	
B 週 1	木		水①a	水②	水③	水④	水⑤			評議会 2:50 水①A週	朝練習7:00 完全下校18時	
			3年 特別時間割									
	金		金①	金②	金③	金④	金⑤			学活 2:00~2:05 清掃なし 完全下校 2:25	PTA総会承認連絡切	
	土		3年 特別時間割								PTA常任委員会	
	日		3年 特別時間割									
B 週 1	月		月②	月③	月④	月⑤		3送会1~4*			学校家庭地域連絡協議会3:00	
			3年 特別時間割									
	火		火①	火②	火③	火④				1校時 2.3年合同歌練習		
	水		水①	水②a	特活		3年生を送る会			4校時 1.2年合同練習 水③A週		
	木		木①	木②	木③	木④	卒業式準備				*	
	金		第70回 卒業証書授与式					卒業式			*	
	土		第70回 卒業証書授与式							AM 1校 1階 停電		
	日		第70回 卒業証書授与式									
A 週 1	月		木①	木②b	木④	木⑤	x			2校時木③B週	*	
			3年 特別時間割									
	火		金①	金②	金④	金⑤	x				定通分割学力検査・面接	
	水		球技大会 1年				x			1年球技大会 部活12:50~2:45 完全下校 3:00	定通分割特色検査・面接	
	木		水①b	水②b	水③b	特活	x	進路説明会		2年球技大会 水①~③B週 部活12:50~2:45 完全下校 3:00	進路説明会 2:00	
	金		まちの先生 平野教育 講演会				x			部活12:50~2:45 完全下校 3:00	小学校 卒業式	
	土		まちの先生 平野教育 講演会				x					
	日		まちの先生 平野教育 講演会				x					
B 週 1	月		金②	金④	金⑤	金⑥	x	1年球技大会予備日		1年球技大会予備日 部活12:50~2:45 完全下校 3:00	*	
			3年 特別時間割									
	火		月②	火③	火④	火⑤	x	2年球技大会予備日		2年球技大会予備日 部活12:50~2:45 完全下校 3:00	定通分割合席発表	
	水		春分の日									
	木		特活	特活	大掃除		x			1年 学年集会(1校時) 2年 学年集会(2校時) 完全下校 12:50	*	
	金		修了式	特活			x	部活10:25~ 12:30 完下12:45		①修了式 8:40~ 9:20 ②特活 9:35~10:20	*	
	土		3年 特別時間割									
	日		3年 特別時間割									
	月		3年 特別時間割							学年末休業		
	火		3年 特別時間割									
	水		3年 特別時間割									
	木		3年 特別時間割									
	金		3年 特別時間割									
	土		3年 特別時間割									

4月の主な行事予定
 4月 5日(木) 午前:始業式、午後:入学式
 4月 6日(金) 離任式
 4月 9日(月) 2年保護者全体会・学級懇談会
 4月10日(火) 3年修学旅行説明会・学級懇談会
 4月11日(水) 1年自然教室説明会・学級懇談会

4月17日(火) 3年全国学力学習状況調査
 4月25日(水) 部活動保護者説明会

* 諸般の事情で予定は変更になることもあります。